

中山間・島しょ部地域イニシアティブ研究センター

〔共同研究支援センター設置期間：令和2年4月～令和7年3月(予定)〕

センター長 **川上 善嗣** (かわかみ よしつぐ) / 工学部 建築工学科・教授

共同研究者 (学内) 八房 智顯(やつふさ とまあき) / 工学部 知能機械工学科・教授
井上 和重(いのうえ かずしげ) / 情報学部 情報コミュニケーション学科・准教授

センターの概要

(1) 主たる研究分野

【分野】
環境学(環境創成学)、複合領域(科学教育・教育工学、生活科学)

【キーワード】
持続可能システム、地域環境創生、持続可能発展地域居住、まちづくり

(2) 研究概要

特徴

- 中国地方の中山間・島しょ部における地域資源に対して工学的見地からその価値を明らかにし、持続的な活動へのイニシアティブを発揮する。
- 地域コミュニティ、各種工業会、商工会などのビジョン策定に参画し、助言を行う。
- 地域の若年者(小中学生)とその保護者等を対象に地域の価値を認識するような参加型の活動を支援・実施する。

展開分野

- 住生活を中心とした地域活性化
- 地域の工業材料、製品の価値の向上
- 地域文化活動の広報支援



地域住民による空家の改修と活用

研究内容

2020年3月以降の社会の劇的な変化に伴い、生活様式は大きく変化している。この変化によって都市部だけでなく、これまでインバウンドを対象とした体験型ツアーや民泊需要を期待していた中山間地域や島しょ部の地域活性化計画は再検討されることになるであろう。

当研究センターではこれらの地域を対象として、持続的に地域の活性化が継続できるような地域コンテンツの発掘を主な研究対象とする。

また小中学生への地域の価値、魅力を伝える企画を実施し、地域住民全体で価値を共有する。

Phase1 Start イニシアティブ

- 地域の教育文化活動に参加
 - 地域とのコミュニケーション形成
- 文化、産業、観光資源の発掘、把握、理解
 - 価値の検討、価値の広報(工業会、商工会等)
- 地域の若年者(小中学生)等との交流
 - 価値の伝承(教育委員会等)



廿日市市での先事例

Phase2 Change イニシアティブ

- 価値の検討、価値の広報
 - 情報発信ツールの検討
- 若年者と価値の共有
 - 住民への展開
- 地域資源の広報活動の企画、実施
 - 広報活動機会の提供

Phase3 Advantage イニシアティブ

- 地域資源(もの)から社会資源(こと)へ
 - 活動を地域資源とする
- 地域住民によるビジョン策定への参加
 - 持続的な地域活動へ
- 地域魅力発信プロジェクトの展開
 - 新しい魅力(資源)発掘、把握、理解

研究成果等

(1) 研究成果

(A) 廿日市市玖島地区と連携し、防災マップ、防災マニュアルを策定



災害危険場所の確認とマニュアル・防災マップ制作に関するミーティングの実施。(2021年度6回実施)



地域コミュニティとの意見交換



住宅地図レベルでの防災マップ案の制作。

(B) 島根県吉賀町コウヤマキ原生林の調査協力



吉賀町内のコウヤマキ原生林において原生林内の出現植物種の調査と胸高直径分布の実測調査(島根県吉賀町産業課主催)に協力。(2021年全国植樹祭の関連事業を立案するも実施できず)

(3) 実績(論文・特許・共同研究・産学連携・補助金)等

川上、松岡:コンクリート船武智丸の現況調査、日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)、海洋建築部門pp.41-42,2020,9.
川上:令和4年度広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業、広島市2022.

(C) 呉市安浦「武智丸」調査実施



昭和19年に建造され、現存しているコンクリート船の強度調査等を実施。(建築学会大会にて報告)

(D) 島根県石見地区に現存する鏝絵の調査



石州左官による作品の調査、保存および観光資産としての利活用について情報収集と各種活動の計画立案を実施。(石見地区の建築設計事務所と協働で実施)

(E) 廿日市市玖島花咲く館の運営協力



マルシェ・カフェの運営・管理業務の支援

(2) 今後の展開・応用分野等

現在継続中のプロジェクトの推進と新しい内容を発掘し、島しょ部、中山間地域での住民との交流を図り、情報交換を行う。